

「遺産」の棚田に苗植え

北区・久留女木

住民や支援者交流も

農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に認定されている久留女木の棚田(浜松市北区引佐町)で12日、田植え体験会が開かれた。地元住民や行政職員、地域外の支援者と家族など約60人が参加し、農作業を通じて交流した。

棚田の保全に取り組む久留女木竜宮小僧の会(西本有一会長)が企画した。参加者は、同会の担当者から植え方を教わり、田んぼに散らばって苗を等間隔に植えた。田植えの後には、棚田散策や虫の観賞、星空観察なども行われた。竹内詩織ちゃん(5)は「田んぼはどろっとしていて気持ちよく、植えるのが楽しかった。またやりたい」と笑顔を見せた。

静岡文化芸術大(同(21)113年)は「地域市中区」の学生でつくのりに支えられて活動管理する約300平方メートルの田んぼで田植えを実施した。同会のメンバーとして体験会にも協力。小淵康成代表(細江支局・大石真聖)

久留女木の棚田で田植えを体験する参加者
|| 浜松市北区引佐町

